

「グリーンマップ」って何?

☆ニューヨークから世界へ★

「グリーンマップ」とは、「アイコン」と呼ばれる世界共通の 絵文字を使用し、自分の住んでいる都市や町の中にあるエコロ ジーや文化の面から重要だと思われる場所を記録した地図です。 1982年に、ニューヨークの環境デザイナーであるウェンデェイ・ ブラウアーによって始まりました。

日本では1997年、地球温暖化防止国連会議(COP3) が開 催されたことをきっかけに、日本初のグリーンマップである「京 都グリーンマップ」が作られました。

世界では、現在50カ国、400以上の都市が参加しています。

アイコンは、「グローバルアイコン」と呼ばれる言葉を越えて世 界の人々と情報交換できる世界共通のものと、「ローカルアイコン」 と呼ばれる活動地域オリジナルのものがあります。自分たちの地 域を歩き、これらのアイコンをマークした地図を見ることで、普 段とは全く違った町が見えてくるでしょう。

愛知淑徳大学 コミュニティ・コラボレーションセンター 松本 佳恵 丸山 綾香 山内悠花子 山田 美穂 山本 礼乃 田中まりの 浅井 美幸 伊藤 茜 玉谷 絵里 大橋 美来 川村 朋香 林 加奈子 山田 莉代 佐原 歩未 中谷 歩夢 安藤 里紗 安藤 里奈 井口 郁 今井優理香 森 絵吏 岩瀬 靖奈 荒川 真依 伊藤 亜依 山田 和也 佐藤 由衣 箕島ちひろ 安田 和代 長瀬未央子 都築 佑那(計29名) 長久手町役場 生活環境部 環境課 印 刷 株式会社丸和印刷

2009年9月1日発行

~活動を企画した、ある愛知淑徳大学生の日記より~

2009年6月6日(土)晴れ。

今日は、長久手小の小学生と一緒にグリーンマップを作りました。 グリーンマップを作る前に、小学生たちに環境の大切さを知って もらおうと、クイズを入れて楽しく学ぶことができる特別劇を考え、 上演しました。途中、森からモリゾーとキッコロが遊びに来てくれ て、長久手小学生のみんなが環境について勉強している姿を応 援してくれました。

そのあとは、チームごとにわかれて、いよいよグリーンマップ 作りヘレッツ・ゴー!!

長久手小の校区を歩きながら、田んぼにいるカエルを見つけ て「生き物」のアイコンシールを貼ったり、道端に落ちているゴ 三を拾ったりしながらグリーンマップを作っていきました。

ゴールに戻るころには真っ白だった地図が、さまざまなアイコ ンシールと、貼ったとき書いた感想でいるどられました。

長久手小の小学生が書いた活動後の感想カードには、「木や 花を見つけて嬉しく思いました」「楽しかった!」などのメッセージ が多くあり、準備した私たち大学生はとてもうれしく思いました。 短い時間でしたが、長久手小の元気な小学生たちと街を歩きな がら、一緒に楽しく活動ができ、たくさんのことを学びました。

長久手小のみんな、ありがとう。また会おうね!







